

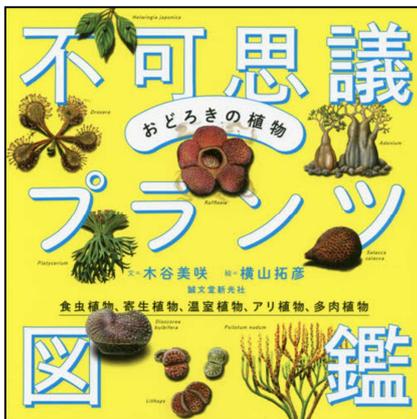
平成29年(2017年)版

Yomo Yomo

ホントに

～10代のあなたに～

きもち



『おどろきの植物 不可思議プランツ図鑑』

きやみさき 木谷美咲 / 文 よこやまくひこ 横山拓彦 / 絵 せいぶんどうしんこうしゃ 誠文堂新光社 2014年発行

花火？猿の顔？タヌキの着ぐるみ？ いいえ、これ、ぜんぶ植物なのです。レア度を3段階に分け、博士がユーモアたっぷりに次々と紹介していきます。見た目も名前も生態も、ゾクゾクするようなおもしろい植物がいっぱい！世界中の様々な環境でたくましく生きる、謎に満ちた植物を、迫力のある絵でお楽しみください。

ふむふむ…

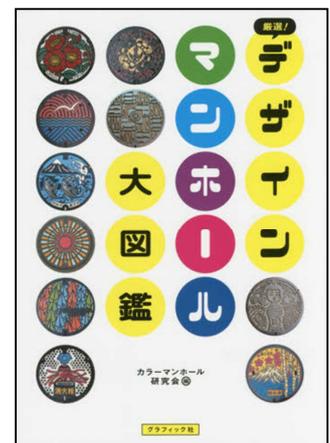
おもしろ図鑑

わお！

『厳選！ デザインマンホール大図鑑』

カラーマンホール研究会 / 編 グラフィック社 2015年発行

いつもなにげなく踏みつけているマンホールの蓋^{ふた}。実は日本全国みんな同じデザインというわけではありません。地域の歴史や文化、特産物が美しくカラーで描かれているものがあるのです。ゆるキャラや恐竜、花火や宇宙船が描かれたものも。もちろん箕面のマンホールものっています。探してみよう。

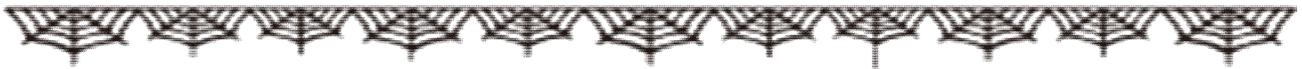




『クモの巣図鑑 巣を見れば、クモの種類がわかる!』

しんかい あきら たにかわあきお かいせいしゃ
新海 明 / 著 谷川明男 / 写真 偕成社 2013年発行

「クモがいる!」と叫ぶ人が時々います。もしかしたら、みんなから嫌われている? でも、巣の形をよく見たことがありますか。雨上がりにクモの糸に水滴がついて光っているときに観察のチャンスです。身近で見られる約40種類のクモについて、不思議な生態を解説します。



『へんな生きもの へんな生きざま』

早川いくを / 編著・デザイン
エクスナレッジ 2015年発行

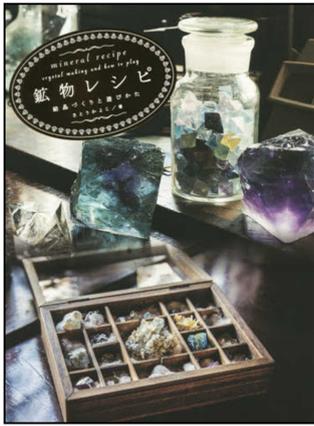
表紙を飾るへんな顔のネズミ、名前は「ハダカデバネズミ」。女王と労働者という社会体制をもつ、唯一の哺乳類です。ページごとに現れるさまざまな生きもの大きな写真と、短い文で語られるその生きざま。この地球上の生命の不思議な形、色鮮やかな姿に圧倒され、次々にページをめくらずにはいられなくなる一冊です。



『信じられない現実の大図鑑』

ドーリング・キンダースリー / 編 増田まもる / 監訳
東京書籍 2014年発行

タイトルのとおり、たくさんのびっくりするような現実がいっぱい詰まった図鑑。例えば、木星の中に地球は1320個も入るとことや、最小のコンピュータはティースプーンに5000個の大きさだということ。「へえー」につながる質問の答えを、見開きいっぱいのイラストから知ることができます。



『鉱物レシピ 結晶づくりと遊びかた』

さとうかよこ／著 グラフィック社 2015年発行

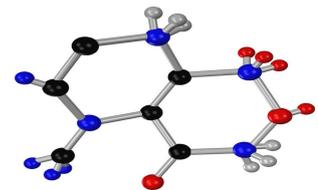
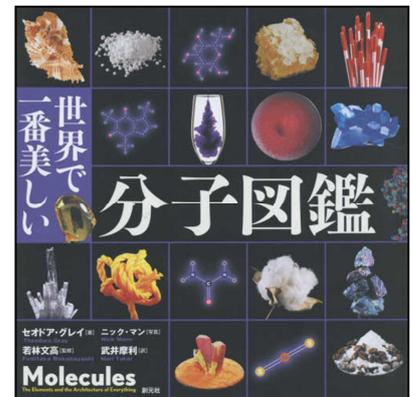
水晶をはじめ、物語の中では神秘的な力を持つアイテムとして登場することの多い鉱物。古い校舎の理科室をイメージして作られたこの本の中には、不思議で、つい手に取ってみたいくなる鉱物がいっぱい。見ているだけでも引き込まれそうな鉱物の実験や遊びかたが紹介されています。



『世界で一番美しい分子図鑑』

セオドア・グレイ／著 ニック・マン／写真
わかばやしひるみだか 若林文高／監修 たけいまり 武井摩利／訳
創元社 2015年発行

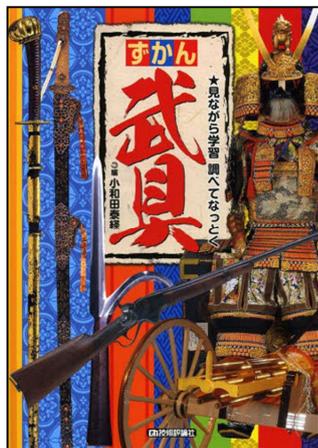
この世に存在するすべてのものは、元素が組み合わさった分子でできている。この本では、香水や薬など身近な物を、実物の写真とともに分子で説明してくれる。分子って意外と日常生活に関係している。“C”や“H”が結合する姿が美しい。『世界で一番美しい元素図鑑』も一緒にどうぞ。

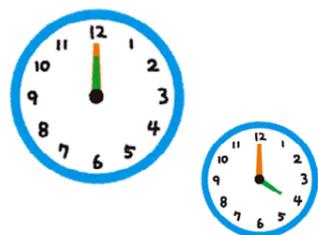


『見ながら学習 調べてなっとく ずかん 武具』

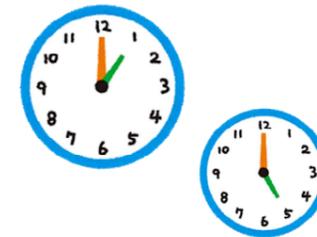
おわだやすつね 小和田泰経／編 技術評論社 2013年発行

戦国武将を語る上ではずせないのが、兜・甲冑姿のりりしさです。実物写真による各部の詳しい解説に「あの武将がこれを着ていたのか」と歴史浪漫が広がっていくことでしょう。遺跡発掘調査から、武具は弥生時代から作られていたと考えられています。時代とともに発展していった武具の魅力が満載です。





タイムトラベルしてみませんか



『タイムトラベラー けいふ
ルビモル』
『時間旅行者の系譜』
紅玉は終わりにして始まり』
ケルスティン・ギア／著 遠山明子／訳
ワカマツカオリ／装画 大野リサ／装幀
東京創元社 2013年発行

代々続く「タイムトラベラー」の家系に生まれたあたし。同い年で優秀ないところが継ぐはずだと思っていたから、今まで何の修行もしてこなかった。ところがある日突然めまいに襲われ、気づいたらそこは過去の世界。その上、一緒に時間を旅する相棒として登場したのは、顔は最高、でも性格が最悪なやつ。いったいどうなるの？



『夏の朝』
本田昌子／著 木村彩子／画
福音館書店 2014年発行

祖父の一周忌法要に訪れた家には、甘い香りがたちのぼる蓮池があった。取り壊されることが決まった家で、若いころ画家を目指していた祖父の蓮の花の絵を見つけた莉子。「蓮のつぼみの中には、『想い』が詰まっている」そう聞いた莉子の、過去と今をつなぐ夏への旅が始まる。香りたつ蓮の花の情景と、読後感が優しい物語。



『ナミヤ雑貨店の奇蹟』
東野圭吾／著 株式会社KADOKAWA 2012年発行

敦也、翔太、幸平の3人は、ある夜、シャッターが下りたままの古びた店に潜り込む。空き家のはずなのに、なぜか悩み相談の手紙が舞い込んできた。が、それは30年も前のものだった。3人は迷いながらも、相談してきた相手に返事を書くことにする。最後に明かされる、時空を超えた不思議なつながり。きっと前向きになれる物語。



『サクラ・タイムトラベル』
加部鈴子／作 岩崎書店 2014年発行

お菓子とおしゃれにしか興味がない志保と、無愛想ないとこの龍之介は歴史博物館へ出かけた。館内を観覧していると火災報知器が鳴りだし、急いで非常扉から外へ出るとなんと、そこは江戸時代だった。突然のことに戸惑う二人は歴史博物館の館長からある指令を受けることに。二人は無事に目的を果たし、現代に戻ることができるのだろうか。

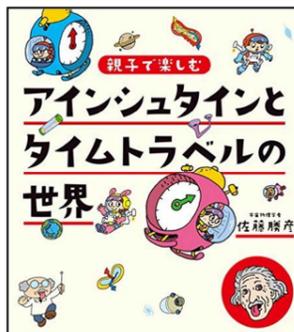


『タイムライダーズ1』
アレックス・スカロウ／作 金原瑞人・樋渡正人／訳 小学館 2014年発行

タイムトラベルが可能になった未来。過去にさかのぼり歴史を変えてしまおうとする「不法侵入者」を取り締まるため、時代も住む国も異なる3人の子どもたちが2001年のニューヨークに集められた。「不法侵入者」によって歴史を書きかえられ、独裁者ヒトラーが世界制覇してしまった世界を元に戻すため、彼らの時空を超えた戦いが今始まる。



『スキップ』 新潮文庫
北村 薫／著 新潮社 1999年発行
17歳の一ノ瀬真理子は、レコードを聴きながら、うつらうつらと目を閉じた。次に目を開けたとき、わたしは42歳の桜木真理子だった。国語教師をしていて、夫も、子どももいるらしい。これは本当のことなのだ。17歳の心のまま、桜木真理子として生きていく。こんな理不尽なことってあるかしら。



『アインシュタインとタイムトラベルの世界』
佐藤勝彦／著 幻冬舎エデュケーション 2014年発行

時間も空間も伸び縮みする？ 重力は時間を遅くする？ かわいい絵とともにアインシュタインの相対性理論を、宇宙物理学者の筆者がわかりやすく解説。はたしてタイムトラベルは本当に実現できるのだろうか。難しそうだと思わずに、物理学の面白さに触れてもらいたい必見の一冊です。



『トムは真夜中の庭で』 新版
フィリパ・ピアス／作 高杉一郎／訳 岩波書店 2000年発行

弟がはしかにかかったせいで、トムは楽しいはずの夏休みをおじさんの家で過ごさなければならなかった。真夜中、その家の大時計が十三時を告げる。それに導かれ裏口を出ると、あるはずのない庭がひろがっていた。トムはこの庭で、時空を超えた忘れられない出会いをすることになる。

品質保証

どれを読んでもおもしろい！
賞味期限はありません！



『おとめの流儀。』

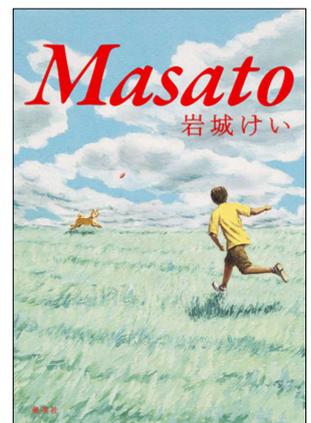
小嶋陽太郎／著 ポプラ社 2015年発行

聡子^{さとこ}は、中学に入ると迷わず廃部寸前のなぎなた部に入部した。しかし前途多難だ。何とか廃部の危機は去ったが、唯一の2年生の朝子さんが、いきなり剣道部に果たし状を突きつけた。家に帰れば、買い物でキノコを大量に買ってしまうような、とぼけたお母さんにも油断できない。それでも聡子は自分の流儀でしのいでいく。

『Masato』

岩城けい^{いわき}／著 集英社 2015年発行

父の転勤により一家でオーストラリアにやってきた真人^{まさと}は、「ここにいる間に英語がペラペラになったらいいね」という両親の希望で地元の小学校に通っていた。言語や文化の違いに戸惑うつらい日々を乗り越え、ようやく楽しくなってきたと思ったら、今度は海外暮らしになじめない母から「日本語でしゃべりなさい！」と叱られてしまう。



『大好き！クサイさん』

デイヴィッド・ウォリアムズ／作 ケンティン・ブレイク／絵

ひさやまたいち
久山太市／訳 評論社 2015年発行



クサイさんは、路上生活者。とにかくとんでもなく臭い。だから誰も近寄らない。ある日、クロエという少女がクサイさんにあいさつした。クロエもまた孤独を感じている少女だ。こんな二人が、超セレブ志向ママと、ママに牛耳られているパパと妹という家族の中で淡々と密かに友情を深めていく。おかしくてスカッとする物語。



『うたうとは小さいのちひろいあげ』

村上しいこ／著 講談社 2015年発行

高校に入学した桃子^{ももこ}は、ひよんなことから“うた部”に入部することになった。うた部といっても合唱じゃなくて短歌を作る部で、メンバーはたったの4人。最初は気のりしなかったけど、短歌って思っていた以上に面白いかも?! 学校帰り、今日も引きこもったままの綾美^{あやみ}の家に寄る。うた部のこと、綾美にも話してみようかな。



『きみ江^えさん ハンセン病を生きて』

かたのだ ひとし
片野田 斉／著 偕成社 2015年発行

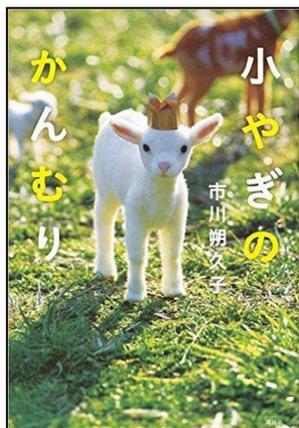
きみ江さんは、かわいらしいおばあさん。その生い立ちは、不治の病と考えられていたハンセン病との戦い・偏見・差別なしに語ることはできません。それでも、勝気なきみ江さんは、偏見に負けず、隔離生活から自由を求め、いつでも前向きです。差別のない世界を願い、夢をいっぱい持ち続けるきみ江さんの生き方が紹介されています。



『マザーランドの月』

サリー・ガードナー／著 さんべりつこ 三辺律子／訳 小学館 2015年発行

ある独裁国家の「月面着陸計画」が華々しく進行するそのさなか、スタンディッシュ少年の友人ヘクターが謎の失踪をとげる。そこには国家規模の陰謀がうごめいていた。ばらばらの時系列で語られる100の章節から、彼らを取り巻く世界の真の姿が徐々に明らかになっていく。「もしなにかが違ったら」という悔恨で始まる物語は、どんな結末を迎えるのか。少年の勇気と決断を見届けてください。



『小やぎのかんむり』

市川朔久子／著 なつめ 講談社 2016年発行

中学3年の夏休み、夏芽が家を離れたい一心で申し込んだ、山奥のお寺でのサマーステイ。でも参加者は自分一人だけ！そこに、母親においていかれた5歳の雷太らいたも加わり、とまどいながらも、いつもと違う日々を過ごすことに。心に傷を抱える夏芽と雷太を静かに見守る温かい人たち。夏芽は少しずつ自分の心と向き合い始める。



箕面市立図書館ホームページアドレス

<http://www.city.minoh.lg.jp/library/index.html>

編集・発行：箕面市立図書館 箕面市立小・中学校図書館

問い合わせ先：箕面市立中央図書館

TEL 072-722-4580

FAX 072-724-9697

発行日：平成29年（2017年）1月

～編集後記～

おもしろ図鑑特集はいかがでしたか？ 図書館には、面白くて奇妙な本がまだまだたくさんあります。膨大な本のなかから、あなたの一冊が見つかりますように。

